

国立国語研究所学術情報リポジトリ

表紙, 目次, 奥付, その他

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-03-31 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://repository.ninjal.ac.jp/records/1117

国立国語研究所報告 90

研究報告集

— 8 —

国立国語研究所

1987

目 次

標準語オトウサン・オカアサンの出自

……………渡辺 友左…… 1

『日本言語地図』関連意味項目の全国方言調査

——語史構成を目的とした、文献国語史との

対照における意味的視野からの必要に基づいて——

……………小林 隆……21

児童の漢字使用

——課題作文の漢字含有率から——


……………島村 直己……77

光ディスクを使用した大量日本語データの蓄積

……………斎藤 秀紀……95

話者の価値判断

——その含意性と異言語への伝達の問題——

……………西原 鈴子… 125 

追加付加詞と追加接合詞に関する一考察

——日本語とインドネシア語との比較——

……正保 勇… 159

刊行のことば

『研究報告集』は、国立国語研究所において、研究員等がそれぞれの研究段階で行った基礎的研究や附随的研究、また研究方法に関する実験的調査、結果を確認するための検証調査等についての小報告をまとめて公にするものです。

今回は、6編の論文をもってその第8集とし、ここに刊行することにしました。

国語研究の上に寄与することができ、また教示、批判が得られれば幸いです。

昭和62年3月

国立国語研究所長 野 元 菊 雄

『研究報告集』収録論文一覧

第1集

「も」によるとりたて形の記述的研究 高橋太郎

雑誌九十種資料の漢語表記 宮島達夫・高木 翠

談話行動の実験社会言語学的研究——目標と資料収集方法について——

江川 清

身ぶりの記述について 江川 清

身振りを記録する——「変位」の記録表試案—— 杉戸清樹

談話行動の計量的研究について 米田正人

表現法の調査方法について 佐藤亮一・真田信治・沢木幹栄

明治初期東京人の階層と語種との関係

——『安愚楽鍋』を中心として—— 飛田良文

第2集

意味分野と語種 宮島達夫

日本語の機能動詞表現をめぐる 村木新次郎

談話行動の総合テキストについて 南 不二男・江川 清・米田正人・

杉戸清樹

文章朗読における調音上の特徴について 高田正治

幼児の使用語と語の意味の理解

——満2歳当日の一日調査から—— 大久保 愛

語の意味発達——最近の研究動向から—— 岩田純一

談話における「はい」と「ええ」の機能 日向茂男

音韻論における日本語五母音体系 石井久雄

第3集

コ・ソ・アの指示領域について 高橋太郎・鈴木美都代

叙法副詞の意味と機能——その記述方法を求めて—— 工藤 浩

私生児を意味する方言のこと 渡辺友左

撥音の実験音声学的研究 高田正治

新聞の漢字含有率の変遷——明治・大正・昭和を通じて—— 梶原滉太郎

就学前幼児の語彙——4児による日常生活語の実態——

大久保 愛・川又瑠璃子

各種文章の字種比率 佐竹秀雄

第4集

迂言的なうけみ表現 村木新次郎

動詞とその下接語の発達の実態

——男児の2歳から3歳前半まで—— 大久保 愛

小学校低学年用国語教科書の用語 島村直己

分散処理端末における簡易型エディタについて 斎藤秀紀

第5集

「～が ある」の用法

——(あわせて)「人がある」と「人がいる」の違い—— 高橋太郎・屋久茂子

雑誌九十種資料の外来語表記 宮島達夫・高木 翠

敬語の使い分け点 野元菊雄

津軽方言における単純疑問と疑問詞疑問 沢木幹栄

スカウト方式による用例採集法の実験について 高梨信博

漢字の読み書き調査の調査方法

——調査問題の作成方法の検討を中心に—— 島村直己

会話形式によるファイル管理情報の生成 斎藤秀紀

有形代名詞と無形代名詞

——日本語とインドネシア語の比較—— 正保 勇

日本語と外国語との照応現象に関する対照研究

上野田鶴子・正保 勇・田中 望・菱沼 透・日向茂男

第6集

敬語のパネル調査から(その1)——合計点と適応点—— 野元菊雄

促音の調音上の特徴について 高田正治

一児童の漢字習得 村石昭三

漢字コードの拡張法に対する試案 斎藤秀紀

概念情報処理 田中卓史

倒置構文に関する一考察

——日本語とインドネシア語との比較—— 正保 勇

ドイツ語挨拶表現の類型化操作について 石井久雄

第7集

公文書のあて名の敬称——一般個人あての場合—— 杉戸清樹

読みの眼球運動と読みの過程 神部尚武

小学校配当漢字外常用漢字の読み

——中一、高一を対象にした自己判定方式に

よる調査の結果から—— 島村直己

同形異語判別への仮名漢字変換処理の応用 斎藤秀紀

受動構文に関する一考察

——日本語とインドネシア語との比較—— 正保 勇

あるラテン語動詞活用表 石井久雄

昭和62年3月

国立国語研究所

〒115 東京都北区西が丘3-9-14
電話 03-900-3111(代表)
FAX 03-906-3530

UDC 809.56 (082)

NDC 810.5

本書の市販品発行所

〔〒 162〕 東京都新宿区納戸町40 (03) 260-5281

株式会社 秀英出版

国立国語研究所刊行書一覽

国立国語研究所報告

1	八 丈 島 の 言 語 調 査	秀英出版刊	品切れ
2	言 語 生 活 の 実 態 ——白河市および付近の農村における——	"	"
3	現 代 語 の 助 詞 ・ 助 動 詞 ——用法と実例——	"	2,000円
4	婦 人 雑 誌 の 用 語 ——現代語の語彙調査——	"	品切れ
5	地 域 社 会 の 言 語 生 活 ——鶴岡における実態調査——	"	"
6	少 年 と 新 聞 ——小学生・中学生の新聞への接近と理解——	"	"
7	入 門 期 の 言 語 能 力	"	"
8	談 話 語 の 実 態	"	"
9	読 みの 実 験 的 研 究 ——言読にあらわれた読みあやまりの分析——	"	"
10	低 学 年 の 読 み 書 き 能 力	"	"
11	敬 語 と 敬 語 意 識	"	"
12	総 合 雑 誌 の 用 語 (前編) ——現代語の語彙調査——	"	"
13	総 合 雑 誌 の 用 語 (後編) ——現代語の語彙調査——	"	"
14	中 学 年 の 読 み 書 き 能 力	"	"
15	明 治 初 期 の 新 聞 の 用 語	"	"
16	日 本 方 言 の 記 述 的 研 究	明治書院刊	"
17	高 学 年 の 読 み 書 き 能 力	秀英出版刊	"
18	話 し こ と ば の 文 型 (1) ——対話資料による研究——	"	2,000円
19	総 合 雑 誌 の 用 字	"	品切れ
20	同 音 語 の 研 究	"	"
21	現 代 雑 誌 九 十 種 の 用 語 用 字 (1) ——総記および語彙表——	"	3,000円
22	現 代 雑 誌 九 十 種 の 用 語 用 字 (2) ——漢 字 表——	"	3,000円

23	話しことばの文型(2) —独語資料による研究—	秀英出版刊	2,000円
24	横組みの字形に関する研究	〃	品切れ
25	現代雑誌九十種の用語用字(3) —分析—	〃	3,000円
26	小学生の言語能力の発達	明治図書刊	品切れ
27	共通語化の過程 —北海道における親子三代のことば—	秀英出版刊	〃
28	類義語の研究	〃	〃
29	戦後の国民各層の文字生活	〃	400円
30-1	日本語地図(1)	大蔵省印刷局刊	品切れ
	日本語地図(1) <縮刷版>	〃	17,000円
30-2	日本語地図(2)	〃	品切れ
	日本語地図(2) <縮刷版>	〃	17,000円
30-3	日本語地図(3)	〃	品切れ
	日本語地図(3) <縮刷版>	〃	17,000円
30-4	日本語地図(4)	〃	品切れ
	日本語地図(4) <縮刷版>	〃	17,000円
30-5	日本語地図(5)	〃	品切れ
	日本語地図(5) <縮刷版>	〃	17,000円
30-6	日本語地図(6)	〃	品切れ
	日本語地図(6) <縮刷版>	〃	17,000円
31	電子計算機による国語研究	秀英出版刊	品切れ
32	社会構造と言語の関係についての基礎的研究(1) —親族語彙と社会構造—	〃	〃
33	家庭における子どものコミュニケーション意識	〃	350円
34	電子計算機による国語研究(Ⅱ) —新聞の用語用字調査の処理組織—	〃	品切れ
35	社会構造と言語の関係についての基礎的研究(2) —マキ・マケと親族呼称—	〃	〃
36	中学生の漢字習得に関する研究	〃	〃
37	電子計算機による新聞の語彙調査	〃	〃
38	電子計算機による新聞の語彙調査(Ⅱ)	〃	〃

39	電子計算機による国語研究(Ⅲ)	秀英出版刊	品切れ
40	送りがな意識の調査	"	1,500円
41	待遇表現の実態 —松江24時間調査資料から—	"	900円
42	電子計算機による新聞の語彙調査(Ⅲ)	"	1,200円
43	動詞の意味・用法の記述的研究	"	6,000円
44	形容詞の意味・用法の記述的研究	"	4,000円
45	幼児の読み書き能力	東京書籍刊	4,500円
46	電子計算機による国語研究(Ⅳ)	秀英出版刊	700円
47	社会構造と言語の関係についての基礎的研究(3) —性向語彙と価値観—	"	700円
48	電子計算機による新聞の語彙調査(Ⅳ)	"	3,000円
49	電子計算機による国語研究(Ⅴ)	"	900円
50	幼児の文構造の発達 —3歳~6歳児の場合—	"	品切れ
51	電子計算機による国語研究(Ⅵ)	"	1,000円
52	地域社会の言語生活 —鶴岡における20年前との比較—	"	1,800円
53	言語使用の変遷(1) —福島県北部地域の面接調査—	"	2,500円
54	電子計算機による国語研究(Ⅶ)	"	1,000円
55	幼児語の形態論的な分析 —動詞・形容詞・述語名詞—	"	品切れ
56	現代新聞の漢字	"	6,000円
57	比喩表現の理論と分類	"	6,000円
58	幼児の文法能力	東京書籍刊	5,500円
59	電子計算機による国語研究(Ⅷ)	秀英出版刊	1,300円
60	X線映画資料による母音の発音の研究 —フォネム研究序説—	"	2,500円
61	電子計算機による国語研究(Ⅸ)	"	品切れ
62	研究報告集(1)	"	1,700円
63	児童の表現力と作文	東京書籍刊	6,000円
64	各地方言親族語彙の言語社会学的研究(1)	秀英出版刊	2,000円

65	研 究 報 告 集 (2)	秀英出版刊	3,000円
66	幼 児 の 語 彙 能 力	東京書籍刊	8,000円
67	電 子 計 算 機 に よ る 国 語 研 究 (X)	秀英出版刊	1,500円
68	専 門 語 の 諸 問 題	"	4,000円
69	幼 児 ・ 児 童 の 連 想 語 彙 表	東京書籍刊	6,800円
70-1	大 都 市 の 言 語 生 活 — 分 析 編 —	三省堂刊	7,800円
70-2	大 都 市 の 言 語 生 活 — 資 料 編 —	"	12,000円
71	研 究 報 告 集 (3)	秀英出版刊	4,800円
72	幼 児 ・ 児 童 の 概 念 形 成 と 言 語	東京書籍刊	6,800円
73	企 業 の 中 の 敬 語	三省堂刊	9,500円
74	研 究 報 告 集 (4)	秀英出版刊	4,200円
75	現 代 表 記 の ゆ れ	"	2,700円
76	高 校 教 科 書 の 語 彙 調 査	"	5,000円
77	敬 語 と 敬 語 意 識 —— 岡 崎 に お け る 20 年 前 と の 比 較 ——	三省堂刊	8,000円
78	日 本 語 教 育 の た め の 基 本 語 彙 調 査	秀英出版刊	6,000円
79	研 究 報 告 集 (5)	"	4,200円
80	言 語 行 動 に お け る 日 独 比 較	三省堂刊	8,000円
81	高 校 教 科 書 の 語 彙 調 査 (2)	秀英出版刊	5,000円
82	現 代 日 本 語 動 詞 の ア ス ペ ク ト と テ ン ス	"	5,000円
83	研 究 報 告 集 (6)	"	4,200円
84	方 言 の 諸 相 — 『 日 本 言 語 地 図 』 校 証 調 査 報 告 —	三省堂刊	9,800円
85	研 究 報 告 集 (7)	秀英出版刊	4,000円
86	社 会 変 化 と 敬 語 行 動 の 標 準	"	9,000円
87	中 学 校 教 科 書 の 語 彙 調 査	"	5,000円
88	日 独 仏 西 基 本 語 彙 対 照 表	"	8,500円
89	雑 誌 用 語 の 変 遷	"	(未定)
90	研 究 報 告 集 (8)	"	3,000円
91	中 学 校 教 科 書 の 語 彙 調 査 II	"	5,000円

国立国語研究所資料集

1	国語関係刊行書目(昭和17~24年)	秀英出版刊	品切れ
2	語彙調査——現代新聞用語の一例——	〃	〃
3	送り仮名法資料集	秀英出版刊	品切れ
4	明治以降国語学関係刊行書目	〃	〃
5	沖縄語辞典	大蔵省印刷局刊	4,300円
6	分類語彙表	秀英出版刊	1,800円
7	動詞・形容詞問題語用例集	〃	1,700円
8	現代新聞の漢字調査(中間報告)	〃	品切れ
9	牛店 <small>雑談</small> 安愚楽鍋用語索引	〃	1,500円
10-1	方言談話資料(1)——山形・群馬・長野——	〃	6,000円
10-2	方言談話資料(2)——奈良・高知・長崎——	〃	6,000円
10-3	方言談話資料(3)——青森・新潟・愛知——	〃	6,000円
10-4	方言談話資料(4)——福井・京都・島根——	〃	6,000円
10-5	方言談話資料(5)——岩手・宮城・千葉・静岡——	〃	6,000円
10-6	方言談話資料(6)——鳥取・愛媛・宮崎・沖縄——	〃	6,000円
10-7	方言談話資料(7)——老年層と若年層との会話—— 青森・岩手・新潟・千葉・静岡・長野・愛知・福井	〃	6,000円
10-8	方言談話資料(8)——老年層と若年層との会話—— 群馬・奈良・鳥取・島根・愛媛・高知・長崎・沖縄	〃	6,000円
11	日本語地域語形索引	大蔵省印刷局刊	1,500円

国立国語研究所国語辞典編集資料

1	国定読本用語総覧1 第1期(あ~ん) ——『尋常小学読本』明治37年度以降使用——	三省堂刊	25,000円
2	国定読本用語総覧2 第2期(あ~て) ——『尋常小学読本』明治42年度以降使用——	三省堂刊	28,000円

言語処理データ集

1	高校教科書——文脈付き用語索引——	日本マイクロ写真	35,000円
---	-------------------	----------	---------

国立国語研究所研究部資料

	幼児のことば資料(1)	秀英出版刊	3,800円
	幼児のことば資料(2)	〃	3,800円

幼児のことば資料 (3)	〃	6,000円
幼児のことば資料 (4)	〃	6,000円
幼児のことば資料 (5)	〃	6,000円
幼児のことば資料 (6)	〃	6,000円

国立国語研究所論集

1	ことばの研究	秀英出版刊	品切れ
2	ことばの研究 第2集	〃	〃
3	ことばの研究 第3集	〃	〃
4	ことばの研究 第4集	〃	1,300円
5	ことばの研究 第5集	〃	1,300円

日本語教育教材

1	日本語と日本語教育	国立国語研究所 文化庁 共編	大蔵省印刷局刊	700円
	—発音・表現編—			
2	日本語と日本語教育	—文字・表現編—	〃	850円
3	日本語の文法(上)	—日本語教育指導参考書4—	〃	450円
4	日本語の文法(下)	—日本語教育指導参考書5—	〃	550円
5	日本語教育の評価法	—日本語教育指導参考書6—	〃	700円
6	中・上級教授法	—日本語教育指導参考書7—	〃	500円
7	日本語の指示詞	—日本語教育指導参考書8—	〃	500円
8	日本語教育基本語彙七種 比較対照表	—日本語教育指導参考書9—	〃	1,000円
9	日本語教育文献索引	—日本語教育指導参考書10—	〃	1,400円
10	談話の研究と教育 I	—日本語教育指導参考書11—	〃	550円
11	語彙の研究と教育(上)	—日本語教育指導参考書12—	〃	600円
12	語彙の研究と教育(下)	—日本語教育指導参考書13—	〃	700円

国立国語研究所年報 秀英出版刊

1	昭和24年度	品切れ	3	昭和26年度	160円
2	昭和25年度	〃	4	昭和27年度	160円

5	昭和 28 年度	品切れ	22	昭和 45 年度	〃
6	昭和 29 年度	200円	23	昭和 46 年度	450円
7	昭和 30 年度	品切れ	24	昭和 47 年度	品切れ
8	昭和 31 年度	品切れ	25	昭和 48 年度	〃
9	昭和 32 年度	〃	26	昭和 49 年度	〃
10	昭和 33 年度	〃	27	昭和 50 年度	700円
11	昭和 34 年度	〃	28	昭和 51 年度	非売
12	昭和 35 年度	〃	29	昭和 52 年度	〃
13	昭和 36 年度	〃	30	昭和 53 年度	800円
14	昭和 37 年度	〃	31	昭和 54 年度	1,200円
15	昭和 38 年度	250円	32	昭和 55 年度	1,300円
16	昭和 39 年度	品切れ	33	昭和 56 年度	1,300円
17	昭和 40 年度	〃	34	昭和 57 年度	2,000円
18	昭和 41 年度	300円	35	昭和 58 年度	2,200円
19	昭和 42 年度	300円	36	昭和 59 年度	2,700円
20	昭和 43 年度	品切れ	37	昭和 60 年度	2,700円
21	昭和 44 年度	〃			

国語年鑑 秀英出版刊

昭和 29 年版	品切れ	昭和 40 年版	品切れ
昭和 30 年版	〃	昭和 41 年版	〃
昭和 31 年版	〃	昭和 42 年版	〃
昭和 32 年版	〃	昭和 43 年版	〃
昭和 33 年版	〃	昭和 44 年版	〃
昭和 34 年版	〃	昭和 45 年版	1,500円
昭和 35 年版	〃	昭和 46 年版	2,000円
昭和 36 年版	〃	昭和 47 年版	2,200円
昭和 37 年版	〃	昭和 48 年版	2,700円
昭和 38 年版	〃	昭和 49 年版	3,800円
昭和 39 年版	〃	昭和 50 年版	3,800円

昭和 51 年版	4,000円	昭和 57 年版	5,500円
昭和 52 年版	品切れ	昭和 58 年版	5,500円
昭和 53 年版	〃	昭和 59 年版	5,800円
昭和 54 年版	〃	昭和 60 年度	5,800円
昭和 55 年版	〃	昭和 61 年度	7,800円
昭和 56 年版	〃		

高校生と新聞	国立国語研究所 日本新聞協会 共編	秀英出版刊	280円
青年とマス・コミュニケーション	日本新聞協会 国立国語研究所 共著	金沢書店刊	品切れ
国立国語研究所三十年のあゆみ —研究業績の紹介—		秀英出版刊	1,500円

日本語教育映画基礎編一覽

(各巻ビデオおよび16ミリカラー, 5分~8分, 日本シネセル社販売)

巻	題 名	制作年度(昭和)
ユニット 1		
1*	これは かえるです —「こそあど」+「は~です」—	49
2*	さいふは どこに ありますか —「こそあど」+「~がある」—	49
3*	やすすくないです, たかいです —形容 詞—	49
4*	きりんは どこにいますか —「いる」「ある」—	51
5*	なにを しましたか —動 詞—	50
ユニット 2		
6*	しずかな こうえんで —形容動 詞—	50
7*	さあ, かぞえましょう —助 数 詞—	50
8*	どちらが すきですか —比較・程度 of 表現—	52
9*	かまくらを あるきます —移動 of 表現—	51
10*	もみじが とても きれいでした —です, でした, でしょう—	52
ユニット 3		
11*	きょうは あめが ふっています —して, している, していた—	52

12* そうじは してありますか —してある, しておく, してしまう— 53

13* おみまいに いきませんか —依頼・勧誘の表現— 53

14* なみのおとが きこえてきます —「いく」「くる」— 53

15* うつくしい さらに になりました —「なる」「する」— 50

ユニット 4

16* みずうみのえを かいたことが ありますか —経験・予定の表現— 54

17* あのいわまで およげますか —可能の表現— 54

18* よみせを みに いきたいです —意志・希望の表現— 54

19* てんきが いいから さんぼを しましょう —原因・理由の表現— 55

20* さくらが きれいだそうです —伝聞・様態の表現— 55

ユニット 5

21* おけいこを みに いても いいですか —許可・禁止の表現— 56

22* あそこに のぼれば うみがみえます —条件の表現1— 56

23 いえが たくさんあるのに とてもしずかです —条件の表現2— 56

24 おかねを とられました —受身の表現1— 51

25 あめに ふられて こまりました —受身の表現2— 55

ユニット 6

26 このきっぷを あげます —やり・もらいの表現1— 57

27 にもつを もって もらいました —やり・もらいの表現2— 57

28 てつだいを させました —使役の表現— 57

29* よく いらっしゃいました —待遇表現1— 58

30* せんせいを おたずねします —待遇表現2— 58

販売価格

	16%カラー	VTRカラー(¾インチ)	VTRカラー(½インチ)
全巻セット	¥720,000	¥480,000	¥384,000
各ユニット	¥112,500	¥75,000	¥60,000
各巻	¥30,000	¥20,000	¥16,000

第1巻～第3巻は文化庁との共同企画

* については日本語教育映画解説の冊子がある。

日本語教育映画 関連教材・資料 (〈株〉ビスコ販売)

- 日本語教育映画 基礎編 教師用マニュアル (全6分冊) 各分冊 1,000円
- 日本語教育映画 基礎編 練習帳 (全6分冊) 各冊 500円
- 日本語教育映画 基礎編 シナリオ集 (全1冊) 1,000円
- 日本語教育映画 基礎編 総合語彙表 (全1冊) 1,500円
- 日本語教育映画 基礎編 総合文型表 (全1冊) 1,500円
- 映像教材による教育の現状と可能性 (全1冊)
- 日本語教育映画ワークショップ報告 (日本シネセル社刊) 2,500円

日本語教育映映教材中級編一覽

(各巻ビデオおよび16ミリカラー, 約5分, 日本シネセル社販売)

セグメント	題名	制作年度(昭和)
ユニット 1	初めて会う人と —紹介・あいさつ—	
1	自己紹介をする —会社の歓迎会で—	61
2	人を紹介する —訪問先の応接室で—	61
3	友人に出会う —喫茶店で—	61
4	面会の約束をする —電話で—	61
5	道をきく —交番で—	61
6	会社を訪問する —受付と応接室で—	61

販売価格

	16mmカラー	VTRカラー(3/4インチ)	VTRカラー(1/2インチ)
各ユニット	¥157,500	¥90,000	¥70,000
各セグメント	¥ 35,000	¥35,000	¥28,000

OCCASIONAL PAPERS -8-

- WATANABE Tomosuke : On the Origin of the Words *otôsan* (father)
and *okâsan* (mother) in Standard Japanese
- KOBAYASHI Takashi : National Survey of Dialects on Semantically
Related Items in *The Linguistic Atlas of Japan*
- SHIMAMURA Naomi : Use of Chinese Characters by Japanese Children
in Guided Compositions
- SAITO Hidenori : On Large-Scale Japanese Language Storage on Optical
Disks
- NISHIHARA Suzuko : Speaker Value Judgment—Conventional Impli-
cature and Inter-lingual Communicability—
- SHOHO Isamu : A Study of Additive Adjuncts and Additive Conjuncts
—In the Cases of Japanese and Indonesian Languages—

THE NATIONAL LANGUAGE RESEARCH INSTITUTE
3-9-14 NISIGAOKA, KITA-KU, TOKYO

1987